

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	外語ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 深堀学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	国際ICT・観光学科	夜・通信	12単位	12単位	
	グローバルICT学科	夜・通信	11単位	6単位	
商業実務専門課程	国際ビジネス学科	夜・通信	13単位	6単位	
	ホテルブライダル観光学科	夜・通信	8単位	6単位	
	国際ビジネス学科	夜・通信	10単位	4単位	
文化教養専門課程	ビジネス日本語学科	夜・通信	6単位	6単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.cbc.ac.jp/introduction/> 内での公表

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	外語ビジネス専門学校
設置者名	学校法人深堀学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>語学(英語科目)、専門科目(ICT、貿易・航空、ホテル・観光)、PC関連科目のそれぞれの専任教員によるミーティングを持ち、科目設定、テキスト選定、授業内容、授業運営について年度開始前に話し合いをして基本ラインを決めている。担当教員が担当する科目の特性を理解し、基本ラインに基づいて到達目標を定め、シラバスを作成する。</p> <p>成績評価方法については、学期末試験、小テスト、課題レポート、発表、実技等のいずれか、もしくは組み合わせで評価点を出すこと授業開始時に各教員が定め、シラバスに記入をしている。</p> <p>シラバス作成時期：3月下旬、9月上旬 シラバス公表時期：4月中旬、9月下旬</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学科・コースの担任が随時個人面談を行い、学習意欲の把握をし、アドバイスを行っている。担当教員が定めた評価方法に従い、それぞれの項目において評価点を出し、学期末に100点満点となるよう集計し、教務に提出をする。科目の評価はシステムで管理され、単位認定を行っている。60点未満の評価を受け、単位認定がされなかった場合は、課題レポートの再提出、再試験等のチャンスを与えている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPA 指標は下記になります。</p> <p>[国際 ICT・観光学科／グローバル ICT 学科／国際ビジネス学科／ホテルブライダル観光学科／国際ビジネス学科(夜)]</p> <p>100-90 S 4.0 89-80 A 3.0 79-70 B 2.0 69-60 C 1.0 59 以下 不可</p> <p>$(S \text{ 取得単位数} \times 4) + (A \text{ 取得単位数} \times 3) + (B \text{ 取得単位数} \times 2) + (C \text{ 取得単位数} \times 1) \div \text{取得総単位数}$</p> <p>[ビジネス日本語学科]</p> <p>100-90 S 5.0 89-80 A 4.0 79-70 B 3.0 69-60 C 2.0 59 以下 D 1.0</p> <p>$(S \text{ 取得単位数} \times 5) + (A \text{ 取得単位数} \times 4) + (B \text{ 取得単位数} \times 3) + (C \text{ 取得単位数} \times 2) + (D \text{ 取得単位数} \times 1) \div \text{取得総単位数}$</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>[国際 ICT・観光学科／グローバル ICT 学科／国際ビジネス学科／ホテルブライダル観光学科／国際ビジネス学科(夜)/ビジネス日本語学科]</p> <p>4 年課程---124 単位 2 年課程---62 単位 1 年課程---31 単位</p> <p>単位認定は、成績並びに出席状況を確認し行っている。半期ごとに学生ごとの単位取得状況を把握し、次学期又は次年度の履修指導を行い、卒業認定の際の単位不足などによる卒業不可の状況が起こらないように取り組んでいる。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	外語ビジネス専門学校
設置者名	学校法人深堀学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表
収支計算書又は損益計算書	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表
財産目録	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表
事業報告書	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表
監事による監査報告（書）	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
年		単位時間／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
人		人	人	人	人	人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）
成績評価の基準・方法 （概要）
卒業・進級の認定基準 （概要）
学修支援等 （概要）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載 事項)
国際 ICT・観光学科	新入生募集無	702,000 円	156,000 円	在籍基本料 施設維持費
グローバル ICT 学科 国際ビジネス学科 ホテルブライダル観光学科	130,000 円	864,000 円	180,000 円	在籍基本料 施設維持費
国際ビジネス学科(夜)	50,000 円	672,000 円	110,000 円	在籍基本料 施設維持費
ビジネス日本語学科	100,000 円	740,000 円	0 円	
修学支援(任意記載事項)				
深堀学園奨学金、資格奨学金、商業教育推薦、定通教育推薦、指定校推薦 (ビジネス日本語科を除く)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 「(1)令和6年度学校自己評価報告書」
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) ・地域の国際交流拠点としての働きを持ち、学生・保護者・業界関係者などに自己評価の結果を提示して、客観的な評価やご意見を頂いています。 ・本評価を行うことで、学校関係者との関係を深め、更に連携やご協力を仰ぐきっかけとしております。 ・1年に1回、自己評価を元に学校関係者に意見を頂いております。 【評価項目】 基準1. 教育理念/目標 基準2. 学校運営 基準3. 教育活動 基準4. 教育成果 基準5. 学生支援 基準6. 教育環境 基準7. 学生の募集と受け入れ 基準8. 財務 基準9. 法令等の順守 基準10. 社会貢献 基準11. 国際交流 基準12. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果基準 【評価委員の構成】 委員の定数: 5名 委員の選出区分: 高等学校関係者、関係団体有識者、財務有識者、本校卒業生、地域関係者 【評価結果の活用方法】

委員会で評価を頂いた内容について、委員会終了後 2 か月を目途に指摘事項について会議を開催し、改善案などを学校長に報告する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
神奈川県高等学校定時制通信制教育振興会 会長	令和 4 年 9 月 1 日～令和 7 年 8 月 31 日 (3 年)	高等学校関係者
川崎商工会議所元会頭、名誉顧問 慶應義塾大学 評議員	令和 4 年 9 月 1 日～令和 7 年 8 月 31 日 (3 年)	関係団体有識者
税理士法人 M&S 総合会計事務所 代表社員	令和 4 年 9 月 1 日～令和 7 年 8 月 31 日 (3 年)	財務有識者
2012 年度卒業生 物流会社勤務	令和 4 年 9 月 1 日～令和 7 年 8 月 31 日 (3 年)	本校卒業生
川崎中央第一社会福祉協議会 理事 駅前本町婦人部 部長	令和 4 年 9 月 1 日～令和 7 年 8 月 31 日 (3 年)	地域関係者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.cbc.ac.jp/ 内での公表
--